報道関係者各位

2026年11月12日
株式会社アルゴリトミAI

PRESS RELEASE

喜林グループ、介護職員や理学療法士がAlgoritmi AIPで業務アプリを開発、現場で運用開始

介護記録・申し送り・計画書作成など、現場を知る職員が自ら業務改善を進める体制へ

株式会社アルゴリトミAI（本店：岐阜県高山市、代表取締役 CEO兼CTO：漆原明尚）は、岐阜県飛騨地域で介護・福祉事業を展開する喜林グループにおいて、当社のサービス「Algoritmi AIP」を活用し、介護職員や理学療法士による業務アプリの開発と現場での運用を開始したことをお知らせします。

喜林グループでは、株式会社ケアトピック（所在地：岐阜県高山市、代表取締役：下畑有司）がDX推進室を設置。介護職・理学療法士の計3名がアプリ開発に参加し、介護記録、勤務帯をまたぐ申し送り、介護計画書の作成、入居申込から判定会議までの管理など、日々の業務に即したアプリを開発・運用しています。

アルゴリトミAIは、業務アプリの開発・運用環境の提供と人材育成を通じて、現場を知る職員が自ら改善を続けられる体制づくりを支援しています。

導入の背景

～紙・Excel・複数のソフトに分散していた作業を見直したい～

喜林グループでは、手書きの書類、WordやExcel、介護ソフト、人事労務ソフトなどを組み合わせて業務を管理しており、転記や集計、情報の確認に複数の工程が生じていました。

改善にあたって重視したのは、それぞれの事業所の業務や工夫を生かせることです。現場の職員自身が必要な機能を考え、実際に使う職員の意見を取り入れながら修正できる開発環境として、Algoritmi AIPを導入しました。

当社担当者による月2回のワークショップで作成方法を学び、試作・試用を実施。従来の紙や書類と併用して動作や使いやすさを確認しながら、本番運用へと進めました。

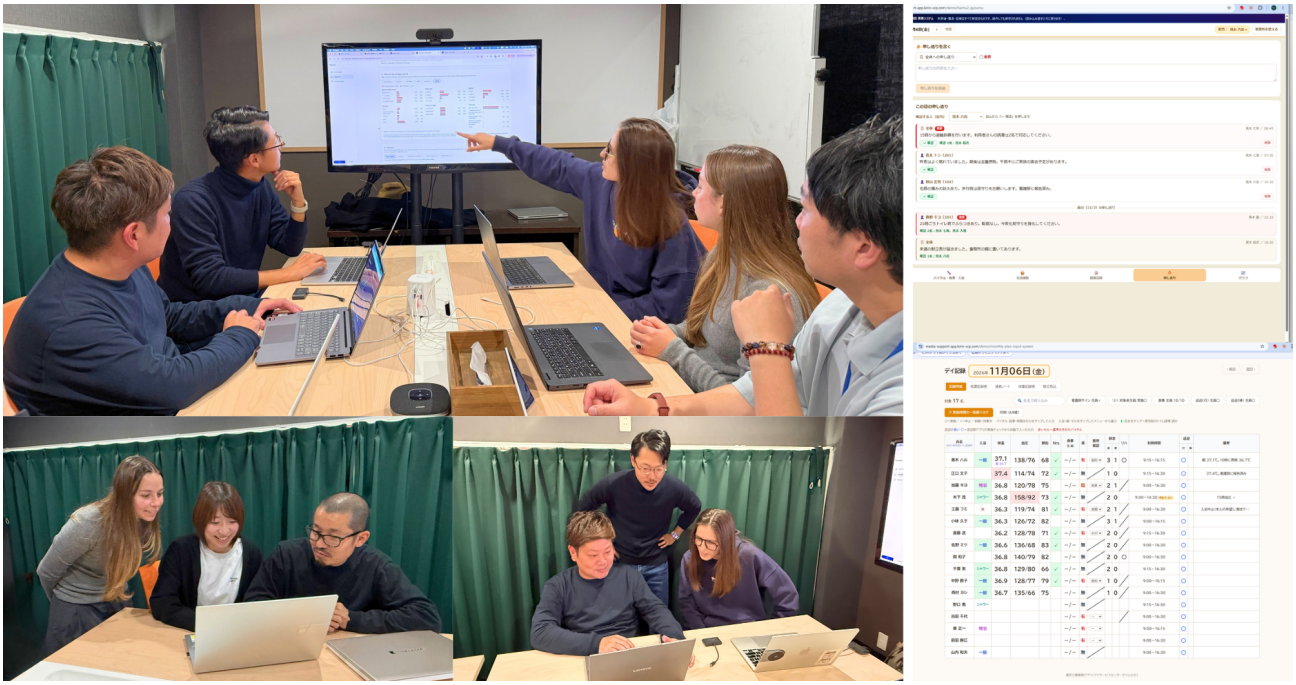
現場で運用している業務アプリの具体例

1．介護福祉士が開発した、日勤・夜勤の介護記録と申し送り

「小規模多機能 業務システム」は、介護福祉士が開発した、日々の介護記録や夜勤業務のチェック、連絡ノート、宿泊ノートなどを扱うアプリです。

毎日繰り返す記録内容をあらかじめ設定し、タップによる入力を中心にするなど、現場での使いやすさを工夫しました。2026年9月に「小規模多機能ホームきりんハイムII」、10月に「小規模多機能ホームきりん」で本番運用を開始しています。

同じ職員が開発した「申し送りシステム」では、利用者別・業務別に情報を整理し、誰が確認したかを記録できます。紙では探しにくかった過去の申し送りも、期間やキーワードで検索できます。介護記録のアプリと連携し、利用者別の申し送りをどちらからでも確認できるようにしています。



アプリを作る職員と実際のアプリ画面 ※記入名は仮名

2．理学療法士が開発した、デイサービスの業務管理アプリ

「デイひだ業務アプリ」は、デイサービスセンターきりんひだの理学療法士が開発し、本番運用しました。

従来は、提供票の内容をExcelへ手作業で転記し、記録・請求・集計を別々に作成していました。現在は、提供票のCSVやPDFから利用予定を取り込み、バイタル、食事、入浴、リハビリなどの日々の記録を、連絡ノートやモニタリングシート、食事請求・売上集計などに活用しています。

PDFのAI読み取り結果は原本と照合し、AIが要約したモニタリング内容も、職員が確認・修正する運用としています。

3．転記や定型文入力を支援する、介護計画書作成アプリ

「介護計画書作成」は、介護職員が開発した、ケアプランのPDFや介護ソフトの連携CSVを取り込み、各種計画書の作成を支援するアプリです。

従来は、届いたケアプランを見ながらExcelへ転記し、定型文もその都度入力していました。現在は、AIが読み取りや下書きを支援し、職員が確認・修正したうえで、所定の様式のExcelファイルを出力します。

2026年9月に本番運用を開始し、10月27日時点で、作成者・支援者を除く11名の職員に利用実績があります。なお、アプリから既存の介護ソフトへ書き戻す機能はなく、介護ソフトへの入力は別途行っています。

4．入居申込から判定会議までを管理するシステム

「入居判定システム」は、グループ内の入居系9施設を対象に、申込受付、判定票、判定会議の記録、入居に向けた連絡、空き状況などを管理します。

申込書PDFの読み取りや議事録の下書きにAIを活用し、職員が内容を確認・修正します。入居の可否や候補者の選定は、入居判定委員などの職員が行います。

開発後も、現場の声を受けて改善を継続

各アプリは、作成した職員が現場からの要望を受けて改修を続けています。DX推進室では、アカウントや閲覧・編集権限、公開前確認、バックアップ、障害時対応などを管理しています。

AIによる読み取りや下書きを利用する業務でも、原本との照合や内容の修正、業務上の判断は職員が担当します。現場の知識と責任ある確認を組み合わせながら、継続して使える仕組みづくりを進めています。

株式会社ケアトピック 代表取締役 下畑有司氏 コメント



「導入の最大の決め手は、私より先にアルゴリトミAIに触れた幹部社員に火が付いたことです。福祉の現場で働く職員こそ、AIと協働する姿勢を持ち、自ら考え、理想とする福祉をカタチにしてほしいと考えています。AIの活用で記録や管理業務の負担を減らし、人に向き合う時間を増やす。少子高齢化の課題先進地域である飛騨から、人手不足など福祉産業が抱える課題を解決する実践を生み出し、全国へ広げていきたいと考えています。」

今後の展開

喜林グループでは、作成したアプリの利用を他の事業所へ広げるとともに、バックオフィス業務への活用も進める方針です。職員への操作支援や、作成者以外も管理できる体制の整備を進め、継続的な業務改善につなげていきます。

アルゴリトミAIは、「AI FOR THE FRONT LINE」を掲げ、業務をよく知る人がAIとの対話を通じて必要なアプリをつくり、組織で活用できる環境と人材育成を提供します。今回の取り組みを通じて、介護・福祉の現場が自ら改善を進めるための支援を深めていきます。

Algoritmi AIP（アルゴリトミAIP）について

Algoritmi AIPは、業務アプリをバイブコーディングで作るための基盤と、構造化されたデータを活用するAIエージェントを管理するためのエージェント基盤の二つを基軸に持つサービスです。自然言語によるAIとの対話を通じて、業務アプリの開発・改善を進めるためのプラットフォームにより、ITエンジニアでなくてもアプリが作れ、また安心に使用できる基盤を整えています。

アルゴリトミAIは、開発・運用環境と人材育成を組み合わせ、企業が自ら業務改善を続けられる体制づくりを支援しています。

株式会社ケアトピック（喜林グループ）について

- 代表者：代表取締役 下畑有司
- 所在地：岐阜県高山市新宮町794番地
- 事業内容：介護・福祉事業
- 公式サイト：https://kirin3.com/

会社概要

会社名：株式会社アルゴリトミAI
設立：2026年8月26日
本店所在地：岐阜県高山市本町3丁目58番地8 ポローニアビル3F
代表者：株式会社アルゴリトミAI 代表取締役 CEO 兼 CTO　漆原 明尚
事業内容：AIを活用した業務アプリ開発・運用基盤の開発・提供、導入支援、AIビルダーの育成
企業サイト：https://algoritmi-ai.com/

本件に関するお問い合わせ先

株式会社アルゴリトミAI
広報担当：渋谷ゆう子
メール：shibuya@algoritmi-ai.com
お問い合わせ：https://algoritmi-ai.com/#contact